



平成31年3月14日

小樽開発建設部 広報官

電話 0134-23-9910

(ダイヤルイン)

## 第26回小樽開発建設部総合評価審査委員会の審議概要

平成31年2月20日に開催された「第26回小樽開発建設部総合評価審査委員会」の審査概要を、別紙のとおりお知らせいたします。

**ShiriBeshi**  
「世界の後志」を目指して

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

技術管理課 課長 寺井 一弘 (0134-23-8305)

技術管理課 課長補佐 小野 英志 (0134-23-8305)



## 第 26 回 小樽開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日・場所	平成31年2月20日（水） 小樽開発建設部 第1会議室		
委員長 委員	和田 建夫（小樽商科大学学長） 岸 邦宏（北海道大学大学院工学研究院 准教授） 八木 宏樹（小樽商科大学名誉教授）		（五十音順）
議 事	<p>議 事</p> <p>【1 審 議】</p> <p>工事の審査について</p> <p>①尻別川右岸 三和地先護岸災害復旧工事</p> <p>②美国漁港 北防波堤（改良）建設工事</p> <p>③一般国道5号 余市町 登川大橋（A橋）上部工事</p> <p>【2 報 告】</p> <p>業務の事前審査</p> <p>第3者による業務の事前審査の報告</p>		
委員からの意見・質問、それに対する回答等			
	意見・質問	説明・回答	
	<p><b>【1 審 議】</b></p> <p>平成30年7月1日から平成30年12月31日までに契約した工事の中から抽出された3件について工事概要説明及び審議を行った。（以下、入札参加者の提案またはその評価に係わる内容は、技術提案に関する機密保持の観点から記載しておりません。）</p> <p><b>○尻別川右岸 三和地先護岸災害復旧工事（施工能力評価型 I 型①）</b></p> <p>・当該工事の留意事項等の提案で、鋼矢板打ち込みにおける施工管理を求めているが、各者の提案内容が同様の管理方法であるが、どのような作業か。</p> <p><b>○美国漁港 北防波堤（改良）建設工事（施工能力評価型 I 型①）</b></p> <p>・当該工事の留意事項等の提案で、海上施工（水中施工含む）における安全対策を求めているが、安全対策の着眼点によっては、いろいろな安全対策があり、その評価を一律で評価をするのか。</p> <p>・港湾・漁港工事で、作業船の保有状況を評価対象としているが、道内企業において作業船を保有しているのか。</p> <p><b>○一般国道5号 余市町 登川大橋（A橋）上部工事（技術提案評価型 S 型）</b></p> <p>・技術審査での段階選抜の考え方は。また、二次審査後に辞退者が出た理由は何か。</p>		
	<p>・鋼矢板の打ち込み時に、鋼矢板の接合具がずれると鋼矢板背面の土砂流失につながり品質を確保出来なくなることから、鋼矢板のずれがないことを確認しながら施工するものです。</p> <p>・工事仕様書等の範囲内では、加点対象とならないが、有効性のある対策を提案した場合に評価することとしている。 安全対策の有効性がある提案に対し、差を付けた評価は行ってない。</p> <p>・港湾事業の工事を行っている企業において、かなり保有している。作業船を所有し、当該工事で使用することが条件となっている。</p> <p>・入札説明の書類で一次審査で10者を指名するが、10位目の評価点合計が複数の場合は、その複数者全員を指名している。 二次審査後に辞退者が出た理由は、調査基準価格を下回り、追加資料の提出を求めたが応じられないとの辞退を申し出たことによる。</p>		

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問

説明・回答

【2 報告】

○平成30年度 第3者による業務の事前審査について

・了解した。

・平成30年度業務（10月から2月）の第3者による事前審査を行った業務について報告。

※第3者による事前審査  
契約の透明性を図ることを目的に、技術提案書の特定前に第3者機関により実施する審査。